

COLUMN

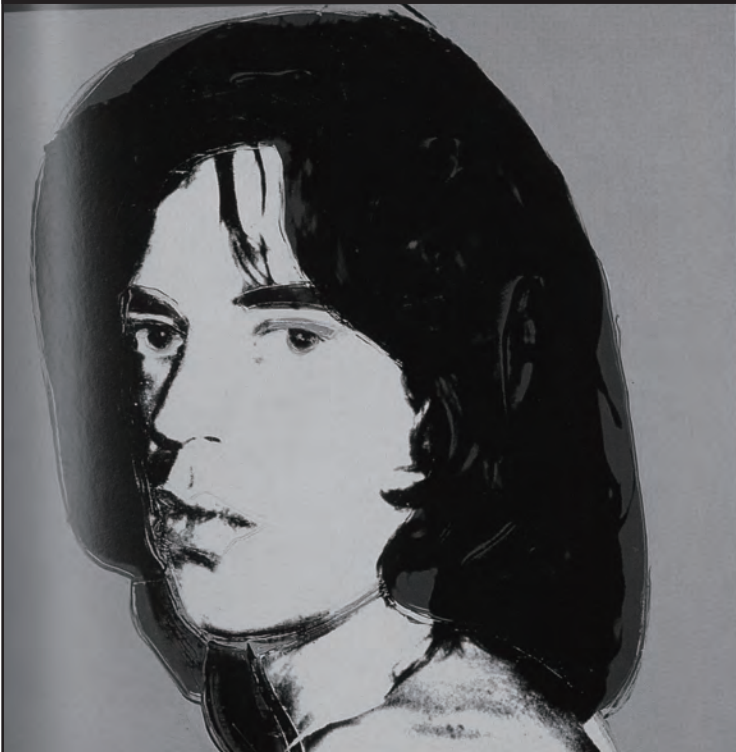
鎌倉の猫事情
第百三話



ミルクホールの庭に、赤い椿が咲きました。沢山花がついて、とても綺麗です。昨年の大晦日に植えた椿です。寒くてちっとも咲かなかったので心配していたのですが、立派に咲きました。4月になったら、椿の木の根元にグーニー君のお墓を作ってあげようと思っています。グーニーは特に椿は好きじゃなかったですから、グーニーのためと言うより、自分のためなんです、それでもお客さんたちの注目を浴びるのが大好きだった猫ですから、皆が、「椿、綺麗ね」って見てくれるのは、グーニーも自分がほめられているみたいで嬉しいんじゃないかな、って思っています。ミルクホールの前の通りが今回の建て替え工事で随分広くなって、通りがかる人達からお店がよく見渡せるようになったのですが、こちらからも通る人達がよく見えます。今はお店の周りで骨董ガラクタ市を開催していますから、通りがかりの人達と立ち止まって話す機会も増えました。犬を連れて散歩する人を見かけると、ついグーニーのことを思い出します。グーニーのしぐさは、まったく犬のようでしたから。よく私と一緒に歩いては、立ち止まって人の顔を見上げたりしていました。犬を見ては、猫を懐かしむ……って本当に変ですが、グーニーはそれほど犬みたいな猫でした。今頃、あの世でグーニーは、猫として暮らしているのか、それとも、犬として暮らしているのか、どっちなのでしょうね…… やっぱり猫、かな？ —————to be continued

Information

ミルクホールに、禁煙室ができました。禁煙室は、テラスに面していて先に書いたように、今は椿がとても綺麗です。この部屋は貸切パーティにも使って頂けるようになっています。これから温かくなるとテラスにも出られます。お天気の良い日に、窓を開けてテラスも利用したパーティはいかがでしょうか？ 10人から20人くらいの小パーティに、ご利用ください。
ミルクホール



Planet

にぎやかな星

おかしい夢を見た。
ある時俺は、この静まり返った地球を飛び出して、こことはまったく違う惑星へ行っただ。どうやって行ったかって、そこまでは覚えてないが、とにかく俺は、そこまで両手を広げるようにして宇宙空間を、飛んでった。その惑星は、沈黙している地球と違って、にぎやかな所で、毎日がお祭りみたいに楽しかった。あつというまにその星が気に入って、不思議なことも全部忘れて、毎日幸せに暮らしていたんだ。ところが、ある日気がついた。俺は、実は地球を飛び出すずっと前には、確かにここで暮らしていたってことに。そういえば、見慣れた道、見慣れた建物に、見覚えのある看板、そしてここにいる人達を、俺はよく知っている。どの人も懐かしい顔ばかり。俺は、もともとここに住んでいたのか？ じゃ、あの静かな地球で暮らしていた俺は、いったい誰なんだ。こうしてあらためてこの惑星を眺めてみると、懐かしそう思うものと、忘れていたもの、最近の事と、随分昔の事がごちゃごちゃにあって、自分のあらゆる記憶の中で迷子になったような気がする。それでも、毎日が楽しくて、何か変だなんて考える気もなくなっていた。

ところが、ある日、俺はその惑星で、”俺”に会ったんだ。カフェでコーヒーを飲んでた時だった。ドアを開けて店に入ってきた”俺”は、シートに座っていた俺を見つけた。そして、つかつかと近づいてきて、「帰れよ。ここは君の来るところじゃない」って、奴がそう言った。それじゃ、居続けるわけにいかないじゃないか。他でもない、自分自身にそう言われたんだから。それで、俺は地球に帰る事にした。あんまり楽しかったから、泣きながら帰る支度をしていたんだ。あんまり泣いて、その涙が流れて目が覚めた。夢だったのか……今は、もう何がなんだかわからなくなつた。ただこの地球の沈黙は、いつかまた記憶を辿って、全然違う惑星へ行くための船なんだって気がする。俺は、今その地図を作っているところだ。いつ飛んで行っても迷わないように、記憶を辿る地図を……



LIVE



ミルクホール 再生記念ライブ

第一回 ミルクホール 蓄音機ライブ

ミルクホールが大正時代に旅する時間・・・
幻想的な音のタイムトリップをお楽しみ下さい。

3/13 Sun.

18:30~

演奏曲 ツィゴイネルワイゼン他

by 成田正延 蓄音機愛好家
蓄音機操作およびSPレコード提供



ミルクホールでは、1980年の映画「ツィゴイネルワイゼン」のロケが行われました。映画の中で、サラサテが自ら演奏したツィゴイネルワイゼンの曲が蓄音機から流れ、その中から聞こえる不思議な話し声が物語の鍵となって、映画全編を通じてミステリアスな音と映像の世界を作り出しています。この大正時代を描いた不思議な映画の映像は、蓄音機がくるくると回り出す場面から始まります。そのレコード盤から流れる音楽は、色々な匂いや空気が交じり合ったような不思議な生命を持つ音でした。以来、その音に魅せられ続けてきましたが、この度成田正延さんの協力を得て、ミルクホールで蓄音機ライブを開催することとなりました。



今回使用する蓄音機は日本ビクターのビクトローラという卓上型と、イギリスのデッカというメーカーのポータブル型の2台です。初めて蓄音機でレコードを聴いていただく方のために、クラシック、ポップス、邦楽、ジャズ、ハワイアン、タンゴ、アラブ音楽、中国歌曲などなど、幅広いレパートリーに、蓄音機やSPレコード、曲説明のトークを交えてお送りいたします。蓄音機はノイズが多く、音楽や歌がよく聴こえないのでは？と思われる方もいらっしゃると思いますが、1920年代の中頃から、マイクで録音したレコードが出始め、それに合わせて、より広い音域、楽器や声の生音により近い音で再生できる、新型の蓄音機が登場します。今回使用するこれら新型の蓄音機は音量も大きいので、昭和の初め頃まで日本各地にあったカフェの店内でBGMを流すために使われていました。特にジャズ系のレコードは音が大きいものが多く、これは当時のジャズが座って聴く音楽というよりも、ダンスホールなどの広いフロアで大勢で踊って楽しむためのダンスミュージックであったことと深く関係しています。当時のアメリカでは「ジャズ」は下品な言葉とされていたようで、レコードにもJAZZとは明記されないことが多いのですが、その代わりほとんどのジャズレコードにはレーベルに「FOX TROT」と印刷されています。これは当時世界的に大流行したダンスステップの名前で、ジャズとダンスが現在では想像できないほど強く結びついていたことを示しています。日本でも大正の終わり頃から東京に多くのダンスホールがオープンし、赤坂の「フロリダ」など大きなところではジャズバンドが生演奏しましたが、多くのホールでは蓄音機を使用していました。さらに時代が下がるまで真空管回路で音を増幅する電気蓄音機やラジオの普及によって電気を使わない蓄音機は廃れていきますが、レコードの溝の振動を直接、音声に変換して大型のホーンで増幅する電気を使わない蓄音機の仕組みは、バイオリンやサックスなどの楽器に近いもので、実際、弦楽器や金管楽器の音色は驚くほど生々しく再生されます。製造から80年以上経った現在まで、その優雅な響きに魅了された蓄音機愛好家達により多くの蓄音機は膨大なSPレコードと共に大切に受け継がれているのです。

※予約不要です。チャージもありません。お気軽にミルクホールのパーティタイムをお楽しみください。

ミルクホールタイムス 総集編 「鎌倉ミルクホールタイムス」 No. 001 ~ No. 100

ミルクホールタイムスを1986年の創刊号より、100号までまとめた総集編です。
ミルクホール1976年のオープンからの色々な出来事、現在も人気連載中の「鎌倉の猫事情」が第一話から第一部の終わりまで掲載しています。
他にわかりやすい骨董入門メモとしてガラクタ通信、鎌倉の話、ミルクホール30年の逸話などを掲載しています。ミルクホールとホームページにて販売中。

¥1500



ミルクホールタイムス 定期購読募集

ミルクホールタイムスは、ミルクホールのライブ、骨董市、催事の最新情報、連載中の鎌倉の猫事情などを掲載し、毎月25日に定期発行しております。定期購読お申し込みの方には、毎月25日郵送いたします。お申し込みは、当店か、ミルクホールホームページにて。

年間購読料 ¥1500

ミルクホール

骨董・ガラクタ市

蚤の市

2/5 Sat. ... 3/6 Sun.

朝11時 OPEN!

ミルクホールの骨董ガラクタ市を開催中です。

ミルクホールのアンティークは

明治・大正時代の日本のものを中心に
古き良き時代の暮らしの中で親まれた品々を

手ごろな価格で揃えています。中には意外な掘り出し物も...



♠ 和洋家具

- ★★★★大正時代ガラス水屋 2段
- ★★★★大正時代水屋箆 1段もの
- ★★明治・大正時代小箆各種
- ★★昭和初期籐テーブル
- ★★明治～昭和文机各種

♥ 古民芸

- ★★ 格子建具
- ★★漆お椀・茶托・御膳
- ★★明治道具箱・錢箱・樽など
- ★★蔵の取っ手・昔の金具
- ★★常滑壺 ★越前壺

古布
古裂

♣ 古陶磁

- ★★伊万里みじん唐草油壺
- ★★幕末伊万里そば猪口
- ★★明治錦絵七寸皿
- ★★明治銅版小皿
- ★★伊万里輪茶碗・そば猪口
- ★★古伊万里豆皿・なます
- ★★伊万里蓋お碗各種



蚤の市 新入荷情報

- ★★★昭和の懐かしい窓いろいろ
- ★★★小さな台・机いろいろ
- ★★明治・大正の染付け皿
- ★★真鍮ドアノブ・ガラス取っ手
- ★★昭和の木製梯子
- ★★茶釜と炉のセット

1ヶ月間開催予定で始まった
再生ミルクホールの第一回蚤の市
もまもなく終わります。
残り物には福がある！
最終土日曜日は、さらに安売り
致します。
特に家具・ドア・窓など大物は、
最終日に大安売りします。
ご期待ください。



Gallery



Information

ミルクホールギャラリーについて

ミルクホールに新しくできた1階は南向きの温かい日差しが入る部屋。その部屋の吹き抜けには木の階段があり、2階の屋根裏部屋は、小さなギャラリーになっています。1階の部屋の前は縁側になっていて、今は赤い椿の花が咲く庭に出られます。少し温かくなったらお茶を飲めるテラスにするつもりです。現在3月6日までは、ガラクタ・骨董の青空市を開催中、次は三浦野菜の青物市なども予定しています。吹き抜けから2階へ通じる階段を上がると、ミルクホールのギャラリーがあります。11平米余りの小さな部屋です。この部屋が、作品展などの期間限定ギャラリーとしてご利用頂くスペースです。

また、1階の部屋は、ミルクホールとドアで仕切られておりますので、ご予約席、貸切の小パーティなどにご利用ください。普段は禁煙ルームとなっています。今までは、分煙スペースがありませんでしたが、煙草の苦手なお客様にも安心してくつろいで頂けるようになっています。

詳しいお問い合わせは、ミルクホールまで

PHONE 0467-22-1179 e-mail/ info@milkhall.co.jp

料金の目安

1週間単位 48,000 円より

1日単位 8,000 円より

利用時間

午前11時から

午後8時までの間

11.5平米

